

										下妻市役所						
工事番号					部		次		課		課長補佐		係	審査	設計	
令和 6 年度				長		長		長		長		長			計者	
biasパークしもつま総合交流ターミナル施設 ボイラーNo.3更新工事										設計書		下妻市 長塚乙 地内				
設計概要	ボイラー更新工事								施工方法		請負					
	機器								施工期間		日間					
	真空式温水発生機 N = 1 基								履行期限		日間					
	排気筒 N = 1 式								起工年月日		令和 年 月 日					
	更新工事								延期・中止							
	新設ボイラー設置 N = 1 式								完了年月日		令和 7 年 3 月 28 日					
	既設ボイラー撤去 N = 1 式								請 負 人		社 名					
	配管配線工事 N = 1 式															
	週休2日促進工事 対象 ・ 対象外										代表者					
											所在地					
電話																
土 木 工 事 設 計 書 (甲)																
変更理由	biasパークしもつま総合交流ターミナル施設において、経年劣化によりボイラーが故障し、施設															
	各所の給湯水（温泉水を含む）の温度を適温に保てない状況となっており、利用者サービスが著しく															
	低下しているため、更新工事を実施する。															
費 目		起 工		第1回変更			第 回変更			増 △ 減						
起 工 額																
請負に附する額 又は 請 負 額																
工 事 価 格																
測 量 試 験 費 又は 工 事 雑 費																
用地及び補償額																
消 費 税 相 当 額																
請 負 決 定 額																
請負に附する額 × 請 負 比 率 = 請 負 額																
下妻市役所																

位置図



縮尺 1 : 5000

100 50 0

(C)PASCO (C)Geo Technologies

工 事 仕 様 書

工 事 名	ビアスパークしもつま総合交流ターミナル施設ボイラーNo.3 更新工事
工事場所	ビアスパークしもつま（下妻市長塚乙 70-3）
工事内容	ボイラー更新工事 機器 真空式温水発生機 N=1 基 排気筒 N=1 式 更新工事 新設ボイラー設置 N=1 式 既設ボイラー撤去 N=1 式 配管配線工事 N=1 式 アスベスト事前調査 官公庁届出書類作成 上記工事等に係る器具、その他機材等の交換 その他附帯する工事及び作業
規格数量	別紙「設計書」参照
契約期間	令和 7 年 3 月 28 日まで ※本契約に係る予算の繰越手続が認められた場合には、別途協議により 工期を変更する予定である。なお、想定している工期は概ね 2 0 0 日 間である。

1. 総則

本工事の施工に当たっては、「下妻市契約規則」、「下妻市建設工事執行規則」及び「茨城県土木工事共通仕様書」によるほか、本仕様書及び特記仕様書によること。

2. 関係法令等の遵守と手続

本工事の施工に当たっては、関係法令及び諸官庁の通達、工事实施に関する協定事項等を遵守し、諸官庁署への届出及び許可等の手続は、速やかに行い監督員に報告すること。なお、これにかかる費用は全て受注者が負担すること。

3. 施工管理

施工管理は「茨城県土木工事施工管理基準」によるほか、必要と認められる試験は、監督員の指示により受注者の負担で実施しなければならない。

4. 工事用仮設備

本工事用の仮設備に必要な用地は、受注者の負担で確保しなければならない。

5. コリنزへの登録

受注者は、一般財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）の提供するコリنزに基づき、受注・変更・完了・訂正時において「登録のための確認のお願い」を監督員に提出し、その確認を受けた後に、コリنزへの登録を行い、同センター発行の「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。

6. 建設リサイクル法関係

（1）工事条件

本工事は、建設リサイクル法により分別解体等が義務付けられている対象建設工事である。受注者は、建設リサイクル法に基づき廃棄物を適切に分別し、再資源化に取り組むこと。

(2) 施工計画

受注者は、設計図書（仕様書を含む。）及び「建設リサイクル法」等の関係法令を遵守し、施工計画書に添えて次の計画書を提出すること。

- ア) 再生資源利用促進計画書
- イ) 建設廃棄物処理計画書

(3) 現場責任者の配置

受注者は、廃棄物処理法に従い、建設廃棄物処理に係る責任者を明確にすること。同責任者は本工事の主任技術者と兼務を可とする。

(4) 適正処理

受注者は、建設廃棄物の処理を他者に委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれ個別に許可業者と書面により委託契約を結ばなければならない。また、マニフェスト等により処理基準や委託内容に沿って適正に行われたか確認しなければならない。

(5) 工事完了段階

受注者は、完成書類に添えて次の実施書及び報告書を提出すること。

- ア) 再生資源利用促進実施書
- イ) 建設廃棄物処理実施書
- ウ) 建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告書
- エ) マニフェストの写し又はリサイクルに係る伝票の写し

(6) 建設副産物の取扱いについて

本工事から発生するコンクリート・アスファルト塊については、次の再資源化施設に搬出し、リサイクルに努めること。なお、その他の再資源化施設へ搬出する場合は、事前に監督員と協議し承諾を得ること。

- ア) 株式会社新栄商事 茨城県下妻市大木1266
- イ) 東京舗装工業株式会社 茨城県下妻市大木1206

(7) アスベスト事前調査について

既設機器の撤去に当たり、予め有資格者によるアスベスト事前調査を実施すること。調査の結果アスベストの含有が確認された場合には、すみやかに監督員に報告し、適正に処理すること。

7. 工事全般

(1) 施工場所の調査

施工に当たり、あらかじめ施工場所を調査し、確認を行うこと。

(2) 施設の養生

施工に当たり、施設に損傷を与えることのないよう適切な養生を行うこと。施設に損傷を与えた場合は、直ちに施設管理者及び監督員に報告し、原状に復すること。その際に費用等が発生する場合は受注者が負担すること。

(3) 施工要領の順守

納入機器・資材等の製造者が発行する施工要領等を遵守すること。

(4) 安全管理

施工に当たり、必要な安全装備（ヘルメット、安全帯等）を確実に着用し、怪我や事故等のないようにすること。

また、施設の利用者や職員の安全確保のため、工事範囲の区画や工事車両等の交通安全に留意すること。

(5) 使用材料

使用材料は、温泉水に適した製品を採用すること。

使用材料に指定品はないが、設計書の参考型番を参照し、同等品以上のものを使用すること。また、事前に監督員の承認を得ること。

(6) 使用材料の検査及び管理

材料搬入毎に監督員の立会いを求め、搬入数量の確認を行うこと。また、数量が明確に確認できる写真を撮影すること。

使用材料は紛失や盗難等の被害を受けないよう適切に管理すること。

(7) 工事日程の調整

工事の日程及び施工時間は、監督員及び施設管理者との打合せを確実に行之、施設運営の妨げや利用者の迷惑とならないように実施すること。

(8) 監督員の立会いが必要な事項

次の場合には、監督員の立会いを求めること。

- ア) 各材料搬入時及び配合時（材料検査）
- イ) 見え隠れ部分の施工時
- ウ) その他監督員が必要と認めるとき

(9) 施工状況写真

施工に当たり、施工前・施工中・施工後の状況写真を撮影し、整理したものを1部提出すること。

(10) 提出書類（工事着手前）

受注者は、工事着手前までに次の書類を監督員に提出すること。

- ア) 施工計画書（1部）
- イ) 説明書（建設リサイクル法関係）（2部）
- ウ) 実施工程表（1部）
- エ) 現場代理人届（2部）
- オ) 材料使用届（1部）

(11) 提出書類（工事完了後）

受注者は、工事完了後速やかに次の書類を監督員に提出すること。

- ア) 工事完成通知書（2部）
- イ) 工事写真帳（1部）
- ウ) 納入仕様書（1部）
- エ) 取扱説明書（1部）
- オ) 機器保証書（1部）
- カ) 上記のほか施設の維持管理に必要な書類（1部ずつ）

(12) 竣工検査

受注者は、工事完了後は竣工検査を受けること。検査に合格した場合は、次の書類を監督員に提出すること。

- ア) 工事物件引渡書（2部）
- イ) 請求書（1部）

8. その他

本仕様書に記載されていない事項については、協議の上決定する。

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数量	単位	単 価	金 額	備 考
	ボイラー更新工事						
1	機器費		1.0	式			第1号代価表
2	更新工事費		1.0	式			第2号代価表
	直接工事費計		1.0	式			
	現場管理費	安全管理費含む	1.0	式			
	一般管理費	法定福利費含む	1.0	式			
	合 計						
	消費税相当額						
	請負に付する額						

第 1 号 代 価 表

番号	名 称	仕様	数量	単位	単 価	金 額	備 考
1	機器費						
	真空式温水発生機	三相200V×2.05kW	1.0	基			KML-400AL-S(日本サーモエナー社製)同等品以上
		缶体出力:465kw 電熱面積:8.9㎡					
		回路数:1回路 最高圧力:0.49Mpa					
		燃料消費量:52.3L/h(灯油)					
	遠隔発停仕様(基板)屋外標準仕様		1.0	式			
	感震装置		1.0	個			
	排気トップ	丸トップ+フランジ付直筒	1.0	セット			
	排気筒部材	350 φ	1.0	式			
	試運転・調整費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	合計						

第 2 号 代 価 表

番号	名 称	仕様	数量	単位	単 価	金 額	備 考
2	更新工事費						
	新設ボイラー設置費		1.0	式			第A-1号代価表
	既設ボイラー撤去費		1.0	式			第A-2号代価表
	配管配線工事費		1.0	式			第A-3号代価表
	仮設・損料費		1.0	式			第A-4号代価表
	合計						

第 A-1 号 代 価 表

番号	名 称	仕様	数量	単位	単 価	金 額	備 考
A-1	新設ボイラー設置費						
	新設ボイラー搬入据付費		1.0	式			
	排気筒組立工事費		1.0	式			
	塗装及び雑工事		1.0	式			
	消耗品雑材		1.0	式			
	官公庁届出書類作成費		1.0	式			
	合計						

第 A-2 号 代 価 表

番号	名 称	仕様	数量	単位	単 価	金 額	備 考
A-2	既設ボイラー撤去費						
	既設温水ボイラー・配管類撤去搬出費		1.0	式			
	撤去品産廃処分費	アスベスト処分は別途	1.0	式			
	アスベスト事前調査費		1.0	式			
	合計						

第 A-3 号 代 価 表

番号	名 称	仕様	数量	単位	単 価	金 額	備 考
A-3	配管配線工事費						
	ボイラー廻り配管・弁類材料費		1.0	式			
	ボイラー廻り配管工事費		1.0	式			
	電気工事費		1.0	式			
	配管保温工事費	GW+カラー板金	1.0	式			
	合計						

第 A-4 号 代 価 表

番号	名 称	仕様	数量	単位	単 価	金 額	備 考
A-4	仮設・損料費						
	現場仮設養生費		1.0	式			
	工器具損料費		1.0	式			
	重機設営費	25tラフター車仕立	1.0	式			
	合計						

平面図

